

C－１３０輸送機による人員降下訓練の再開について（口頭要請）

本日、北関東防衛局より、横田基地において平成３１年１月８日及び９日に連続して発生したパラシュート落下事故について、原因はパラシュートの機能不全であったとし、同型のパラシュートを一時使用停止とした上で、綿密な調査を行うとともに、再使用時までにはパラシュート整備士の再訓練を行う旨の情報提供があった。さらに、今回使用したパラシュートとは異なる型のパラシュートを使用して、１月１４日から人員降下訓練を再開するとの情報提供もあった。

昨年４月以降、同様のパラシュート落下事故が相次いで発生しているにも関わらず、異なる型のパラシュートを使用するとはいえ、事故の原因究明が十分になされないまま事故発生後数日で訓練を再開することは、周辺住民の不安をより増大させるものであり、極めて遺憾である。

また、当協議会ではこれまでも、国民の祝日には航空機の飛行等を行わないよう求めているが、訓練が再開される１月１４日は「成人の日」であり、基地周辺自治体の多くでは成人式が予定されている。

については、下記の通り、改めて要請する。（※）

- 1 今回の落下事故について、調査委員会における徹底的な原因究明を行い、関係自治体に速やかに情報提供を行うこと。
- 2 事故原因が明らかになるまでは、同型のパラシュートを使用しないこと。
- 3 成人の日（平成３１年１月１４日）には、人員降下訓練を実施しないこと。
- 4 訓練の再開に当たっては、徹底した安全対策を講じ、横田基地周辺地域へ影響を及ぼさないこと。

※ 国に対しては、「については、以下のことについて対応するよう、米軍への申し入れを強く要請する。」と要請

平成３１年１月１１日

在日米軍横田基地第３７４空輸航空団司令官
オーティス C. ジョーンズ大佐 殿
北関東防衛局長 吉田 廣太郎 殿
横田防衛事務所長 五十嵐 昭紀 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長 東京都知事 小 池 百合子

副会長	福生市市長	加藤	藤水	育男
	立川市市長	清白	水井	庄平
	昭島市市長	藤野	木浦	伸介
	武蔵村山市市長	並杉		
	羽村町市長			勝心
	瑞穂町市長			之